

超高齢社会を迎え習得すべきインプラントオーバーデンチャー
～アタッチメント取付およびインプラント植立実習付き～
(初心者も歓迎, 口腔内スキャナーの活用, 3D プリンター義歯も含む)

長寿社会を迎えて、欠損のある方にとってインプラント治療は咀嚼改善さらには健康長寿につながる福音の治療といえるでしょう。このような中、無歯顎・多数歯欠損に対して外科的侵襲、経済面、技術面で有利で少数のインプラントで高い効果の得られるインプラントオーバーデンチャー（以下 IOD）が注目されています。そこで、顎堤の保全や咬合支持の改善、審美回復（クラスプを無くすることができる）に有用で、インプラントの適応症を大幅に拡大できる IOD の基本と臨床を実習もまじえて解説します。

また、フェイススキャンや 3D プリンター義歯を含む口腔内スキャナーの臨床活用法（IOS デンチャーコピー法）や要介護を見据えたインプラント治療の考え方についても述べたいと思います。長寿社会に向けた補綴設計の選択肢として不可欠な治療法となりつつある IOD を、是非この機会に習得してください。

【講師】

田中 譲治 日本大学松戸歯学部臨床教授
(所属学会) 公益社団法人日本口腔インプラント学会 理事
日本磁気歯科学会 理事 日本歯科審美学会 理事
日本アンチエイジング歯科学会 理事 MACS 研究会 主宰

村上 洋 日本大学教授
(所属学会) 日本口腔インプラント学会
日本補綴歯科学会

【講義】

1. インプラント適応症拡大および患者へのモチベーションアップ
2. インプラントの植立部位および本数の原則（リジット IOD, フレキシブル IOD）
3. 免荷期間中および、手術後抜糸までの重要ポイント（ガーゼ法）
4. アタッチメント取り付けの勘所（マグネットを中心とした弾性材料の使用法）
5. 無口蓋義歯の製作ポイント
6. ユニバーサルサポートへの配慮（固定性から IOD への設計変更必要度レベル）
7. デジタルデンティストリーの利用

【実習】

1. 無歯顎へのインプラント植立実習（初心者にも丁寧に指導します）
2. アタッチメントの取り付けデモと実習